



## ■まちなかの拠点となる「ランドマーク性の高い庁舎」

- ・中央児童公園との連携に配慮しながら、緑豊かな都市環境を形成
- ・どこからでも見えるシンボル性のある「塔のある庁舎」
- ・まちを展望でき、坂東の名所となるような「丘のような庁舎」
- ・市民が集い、観光客が訪れ、交流を促す、まちの「玄関となる庁舎」

## ■すべての人にやさしい「開かれた庁舎」

- ・市民にとって行政が身近に感じ、誰にも分かりやすい「低層テラス型の庁舎」
- ・市民と行政のお互いの顔の見える「開かれた庁舎」
- ・玄関から上階まで、一つにつながった開放的な空間構成による「一体感のある庁舎」
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすく、わかりやすい空間づくり

## ■多くの市民が集い開放的で「活気に溢れた庁舎」

- ・市民や行政との出会いを誘発し、様々な活動により活気に溢れる「交流の場となる庁舎」
- ・緑豊かな都市環境と一体感のある、テラスのように開放的な「市民の憩いの場となる庁舎」

## ■安全・安心で「災害に強い庁舎(LCB庁舎)」

- ・市民を守る安心の要となる「防災活動拠点としての庁舎」
- ・災害に強く安全であると同時に、災害後の長期復旧においてインフラを自立確保した「業務を継続可能なLCB庁舎」

## ■自然エネルギーを生かした環境に配慮した「先進エコ庁舎」

- ・低層テラス型庁舎の特徴を生かし、自然エネルギー（風・水・光）を積極的に取り入れた計画
- ・長寿命化を実現し、ランニングコストの低減により「ライフサイクルコストを抑えた庁舎」